

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
695		有害鳥獣駆除事業	会計	01	一般会計
			款	06	農林業費
基本 施策	42	持続的で個性的な農林業の実践	項	02	林業費
			目	02	林業振興費
施策	9	有害鳥獣対策の推進	細目	102	有害鳥獣駆除事業
			細々目	01	有害鳥獣駆除事業
基本計画該当頁			161		
行革大綱の重点事項番号					
担当部課	コード	160100	評価者氏名	山内 敏	連絡先
名称	産業振興部 農林政策課				22 - 9665 (内線) 2710

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなのか)
農林業者 (対象件数)	有害鳥獣個体数の減少による農作物・畑作物被害の削減が図られる。
根拠法令・要綱等 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、産業振興関係補助金等交付要綱	
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
本年度事業内容 有害鳥獣による農作物等の被害を低減させるため、伊賀市猟友会に捕獲駆除を委託する。 伊賀市猟友会委託料(活動運営費) 伊賀市猟友会委託料(報告書に基づき有害鳥獣捕獲出役金を支払う。) 被害農家等からの申請により有害鳥獣を駆除する。	平成18年度に伊賀市猟友会を設立 状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容				
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
委託 工事	事業内容	猟友会補助金			(千円) 0	猟友会補助金			(千円) 250	猟友会補助金			(千円) 250	猟友会補助金			(千円) 250	猟友会補助金			(千円) 250
		捕獲委託料			3,620	捕獲委託料			7,550	捕獲委託料			7,550	捕獲委託料			7,550	捕獲委託料			7,550
		事務費			12	事務費			118	事務費			20	事務費			20	事務費			20
		狼捕獲報償費			60	狼捕獲報償費			90	狼捕獲報償費			180	狼捕獲報償費			180	狼捕獲報償費			180
進捗率(%)																					
事業投入人員		人員費(B)	0.2	人	1,440	人員費(B)	0.2	人	1,440	人員費(B)	0.2	人	1,440	人員費(B)	0.2	人	1,440	人員費(B)	0.2	人	1,440
トータルコスト(A)+(B)					5,132				10,228				9,440				9,440				9,440

事業費(人員費除)の財源内訳

(A) 事業費	3,692	8,788	8,000	8,000	8,000	8,000
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	3,692	8,788	8,000	8,000	8,000	8,000
計	3,692	8,788	8,000	8,000	8,000	8,000
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・地方債の区分と充当率等					

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
駆除出動回数	回	目標	2,440	2,500	2,500
		実績	869		
捕獲頭数(鳥獣)	頭	目標	460	460	460
		実績	117		
		目標			
		実績			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
駆除要望に対する駆除出動割合	被害地区からの駆除要望に迅速に対応できたかを指標とする。	%	目標	100	目標	100
			実績	100	実績	100
			目標			
			実績			

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	年々有害鳥獣による農作物被害が増加しており、駆除することにより被害の低減を図るため必要である。生産意欲も高める。
有効性	3	猟友会員に駆除依頼 依頼件数 96 件、捕獲頭数 220 頭(イノシシ82、シカ73、サル49、アライグマ16) 捕獲鳥獣 240 羽
達成度	3	イノシシ、シカ、サル等の被害は益々増加すると思われる。
効率性	3	駆除出役等コスト削減は、難しい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	狩猟免許取得の推進及び猟友会員の増を促す必要があるため、免許取得を推進する。